

■ 総 括

本年度は、地域住民の暮らしを支える身近な相談機関として、関係機関・団体との連携を深めながら、権利擁護支援及び地域福祉の推進に取り組みました。

特に、成年後見制度利用促進における中核機関（通称：権利擁護サポートセンターかいづか）の開設と運営、地域における相談支援体制の充実、地域福祉活動の推進、社協活動の周知・啓発の強化に重点を置き、各事業を展開しました。

さらに、受託事業の拡大に伴う組織体制の見直しを進め、各部署が連携しながら、より効果的な事業運営と支援体制づくりに取り組みました。

■ 重点事業の実施状況

1. 権利擁護支援の推進と中核機関の開設

「地域福祉活動計画」の推進3年目として、地域における権利擁護支援体制の構築に注力しました。特に市より受託した成年後見制度利用促進における中核機関（通称：権利擁護サポートセンターかいづか）については、開設に向けて9月末までは準備会を開催しながら、関係機関との協議や運営体制の整備を進めました。10月の開設後は、相談対応や関係機関との連携調整を行い、権利擁護支援の拠点として着実な運用に努めました。また、制度利用に関する相談支援や普及啓発を通じて、成年後見制度を始めとする権利擁護支援に関する理解促進に取り組みました。

2. 地域福祉の推進

地域福祉の推進においては、地域住民や関係団体とのつながりを大切にしながら、地域で支え合う仕組みづくりを進めました。特に拡大地域ケア会議の開催を通じて、個別の課題や地域課題の把握に努めるとともに、必要に応じて関係機関との連携を図り、安心して暮らせる地域づくりに取り組みました。

また、地域活動や相談支援を通じて住民同士のつながりづくりを進め、地域課題の早期把握と支援につながる体制づくりに努めました。

3. 「社協を知る Book」（通称：ほんなら Book）の作成

社協の役割や活動をより身近に感じていただくため、プロジェクトチームによる「社協を知る Book」（通称：ほんなら Book）の作成に取り組みました。第1版を地域の関係者に配布した後は、直接寄せられた感想や意見を集約するとともに、内容の見直しや改善を行いながら、より充実した第2版（完成版）の作成へとつなげました。

4. 相談支援体制の拡充と組織運営の強化

受託事業の拡大に伴い職員体制の充実を図る中で、円滑な事業運営を行うため組織再編を実施しました。各部署の役割を整理し、情報共有や連携を強化することで、相談支援や地域支援をより効果的に進める体制づくりに努めました。

また、障害者基幹相談支援センター事業においては、地域生活支援拠点等整備コーディネート業務を拡充し、障害児から障害者まで切れ目のない総合的な相談支援体制づくりに取り組みました。

1. 各種会議開催経過

○理事会 5回

年 月 日	会 場	主 な 議 題	出席人員
7.6.6	保健福祉合同庁舎	令和6年度事業報告・収入支出決算認定の件 理事候補者・監事候補者選任の件、評議員候補者推薦の件	11人
6.24	保健福祉合同庁舎	会長・副会長選定の件、顧問・相談役選任の件	12人
11.10	保健福祉合同庁舎	会長の職務執行状況の件、第31回貝塚市社会福祉総会の件	11人
8.2.19		評議員推薦の件	書面審議
3.18	保健福祉合同庁舎	令和7年度一般会計補正予算の件 令和8年度事業計画、一般会計予算の件	11人

○評議員会 2回

年 月 日	会 場	主 な 議 題	出席人員
7.6.24	保健福祉合同庁舎	令和6年度事業報告、収入支出決算認定の件 理事・監事選任の件	23人
8.3.30	保健福祉合同庁舎	令和7年度一般会計補正予算の件 令和8年度事業計画、一般会計予算の件	23人

○評議員選任・解任委員会 2回

年 月 日	会 場	主 な 議 題	出席人員
7.6.10	保健福祉合同庁舎	評議員の選任について	5人
8.3.9	保健福祉合同庁舎	評議員の選任について	5人

○監査 1回

年 月 日	会 場	主 な 議 題	出席人員
7.5.27	保健福祉合同庁舎	令和6年度決算監査	3人

○地区福祉委員会連絡会 3回

年 月 日	会議の名称	会 場	主 な 議 題	出席人員
7.5.28	三役連絡会	保健福祉合同庁舎	会員会費制度の推進 小地域ネットワーク活動補助金申請	25人
9.10	三役連絡会	保健福祉合同庁舎	共同募金運動の推進 貝塚市社会福祉総会	24人
8.2.26	三役連絡会	保健福祉合同庁舎	小地域ネットワーク事業補助金精算・事業報告 各地区福祉委員会決算書作成、保険加入等	26人

○委員会 6回

年 月 日	会議の名称	会 場	主 な 議 題	出席人員
7. 5. 28	企画委員会	保健福祉合同庁舎	令和6年度事業報告・決算、機関誌7月号の企画・編集	10人
7. 25	〃	〃	機関紙9月号の企画・編集、社会福祉総会について	9人
9. 22	〃	〃	機関紙11月号の企画・編集	9人
11. 19	〃	〃	機関紙1月号の企画・編集	8人
8. 1. 26	〃	〃	機関紙3月号の企画・編集	10人
3. 11	〃	〃	令和8年度事業計画・予算、機関紙5月号の企画・編集	9人

○その他の諸会議 9回

年 月 日	会議の名称	会 場	主 な 議 題	出席人員
7. 4. 30	ふれあい喫茶担当者会議	市民福祉センター	令和7年度補助金交付、情報交換	54人
7. 6. 9	献血推進協議会	保健福祉合同庁舎	令和6年度事業報告、収支決算 令和7年度事業計画・予算	10人
7. 8. 18 8. 2. 27	地区募金会 〃	保健福祉合同庁舎 書面開催	共同募金運動・歳末たすけあい運動の推進 共同募金運動・歳末たすけあい運動の結果報告	13人
7. 6. 25	校区ボランティア部 会新旧部長交流会	保健福祉合同庁舎	ボランティア活動パネル展について	18人
7. 10. 21 11. 18 8. 1. 20 3. 24	ボランティアフェスティバル実行委員会	保健福祉合同庁舎	正副実行委員長の選出、開催要項について 会場レイアウト、模擬店・作品展について 役割分担、当日の準備について ボランティアフェスティバル振り返りについて	13人 12人 12人 13人

2. 地区福祉委員会活動

地区福祉委員会においては、身近な福祉課題の解決に向けて、地域の特性を活かした様々な福祉活動に取り組んでいます。令和7年度も地域住民、関係機関等と連携し、地域における支え合い、助け合いの地域づくりに取り組みました。

統一テーマ事業として、献血事業・独自ふれあい訪問事業・機関紙発行をそれぞれ実施。

また、メニュー事業については、6分野の研修を設定し、事業費助成を行うとともに、各校区において、活動のヒントにつなげるための研修会を開催しました。

令和7年度各校区統一テーマ事業実施状況

統一テーマ事業	実 施 校 区
献血事業	木島校区 (5/23、11/21)
	葛城校区 (5/23・11/21)
	東山校区 (5/23・11/21)
	南 校区 (7/19・3/14)
	二色校区 (10/18)
独自ふれあい訪問事業	津田校区 (9/6・3/14)
	北 校区 (9/20)
	東 校区 (11/30)
	中央校区 (5/11)
機関紙発行	東 校区 (5/16・9/19)
	北 校区 (5/23・9/19)
	津田校区 (5/16・9/12)
	木島校区 (11/20・1/9)
	中央校区 (5/23・9/26・1/23)
	葛城校区 (5/23・9/19)
	二色校区 (9/19)
	西 校区 (9/19・2/2)
	南 校区 (5/2・9/5)
	西 校区 毎月発行
	北 校区 6月、12月発行
	南 校区 8月・1月発行
	木島校区 10月・3月発行
	葛城校区 11月・3月発行
	二色校区 7月、10月・3月発行
	東山校区 6月発行

令和7年度各校区メニュー事業実施状況

メニュー事業	実 施 校 区
青少年分野研修会	西 校区 (8/28)
障害者分野研修会	北 校区 (2/12)
人権分野研修会	西 校区 (11/12)
	北 校区 (3/11)
ボランティアスクール	南 校区 (6/27)
	西 校区 (2/17)
住民懇談会	中央校区 (7/23、1/23)
その他分野研修会	西 校区 (11/24・12/10)
	北 校区 (6/24、7/12、2/1)
	中央校区 (3/4)
	葛城校区 (11/1)
	木島校区 (2/16)
	二色校区 (7/25・11/22)

3. 各種研修会

年 月 日	事 業 名	会 場	主 な 内 容	参加人員
7. 12. 9	社協ボランティア 管外研修会	大阪ガス ガス科学館	天然ガスや都市ガスの仕組み 地球温暖化、環境問題等	20 人
7. 5. 24～ 25 7. 10. 24～ 31	生活援助サービ ス従事者研修	市民福祉セ ンター	介護予防・日常生活支援総合事業 の訪問型サービスのうち、市独自の緩和した人員基準による訪問型サービスの従事者を養成	23 人 13 人

4. 啓発活動

○機関紙「社協かいづか」の発行、年6回（5月、7月、9月、11月、1月、3月）

タブロイド版4面、町会・自治会を通じて全戸配布。（全面カラー）

○「声の広報」の発行、年6回

視覚障害者の方を対象に社協かいづかの音声版を配布。

○ホームページ、Instagram、フェイスブックの充実

最新情報を随時更新し、事業内容を周知。

○ボランティア活動パネル展の開催

8月4日～8月8日、イヅイチシェルピア・ドゥ アトリウムにおいて、社協ボランティア連絡会および各校区ボランティア部会の活動写真をパネル展示し、地域で取り組まれているボランティア活動を広く市民のみなさんに周知しました。

5. 第31回貝塚市社会福祉総会の開催

令和7年11月29日、市民福祉センターにおいて、社協会員をはじめ社会福祉関係者140名が相集い、地域福祉への関心や社協事業への参加意欲の高揚を図るとともに、多年にわたり社会福祉の向上に功績のあった方を顕彰することを目的に開催。

第1部 式典「社会福祉功労者表彰」

○貝塚市長感謝状－11名

○貝塚市社協会長表彰－36名

第2部 貝塚市社協の事業紹介

社協を知る Book「ほんなら！貝塚市社協に行ってみよか〜」について

発表者 発表者 社協職員6名

6. 第27回ボランティアフェスティバル in 貝塚の開催

令和8年2月23日、貝塚市役所、市役所前緑の広場において「できるときに、できることを、できるだけ」をテーマに開催し、総勢530名の参加がありました。

社協ボランティアをはじめ、各校区のボランティアや関係者が一堂に会して、交流を深めるとともに、市民のみなさんに楽しみながら福祉やさまざまなボランティア活動を知っていただく機会となりました。

（内容）模擬店、演芸会、パネル展、販売コーナー、作品展・遊びコーナー、お楽しみ抽選会等

7. 小地域ネットワーク活動の推進

市内全地区福祉委員会において、地域の高齢者や障害者など、支援を必要とする人々が安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支えあい助け合い活動を展開。

令和7年度においても住民同士のふれあいや支え合いのきっかけとなる交流活動を始め、継続的な見守り、声かけ訪問活動などの取り組みが進められました。

校 区	推進委員会 等の開催	個別援助活動			グループ援助活動 (訪問活動含む)			研修 学習活動	広報啓発 活動	福祉委員会 加入町会数
		対象者数 (人)	協力員数 (人)	延訪問 回数(回)	開催回数 (回)	延参加者 数(人)	延協力員 数(人)	〔研修会〕 〔見学会等〕	〔機関紙〕 〔発行等〕	
東	11 回	535	173	2,209	75	2,790	690	1 回	1 回	7 町会
西	3 回	184	34	790	137	6,927	959	5 回	12 回	14 町会
南	2 回	35	12	656	102	3,655	702	1 回	2 回	18 町会
北	4 回	26	11	438	92	4,692	925	5 回	2 回	10 町会
津田	9 回	113	12	1,059	62	2,278	475	0 回	2 回	4 町会
中央	3 回	18	12	335	76	2,700	726	3 回	0 回	9 町会
木島	11 回	14	14	268	63	2,699	847	1 回	2 回	7 町会
永寿	0 回	0	0	0	0	0	0	0 回	0 回	0 町会
葛城	6 回	9	3	188	77	2,751	746	1 回	2 回	6 町会
二色	9 回	87	15	214	47	4,078	744	2 回	3 回	7 町会
東山	10 回	214	5	385	22	744	161	3 回	10 回	2 町会
合計	68 回	1,235	291	6,542	753	33,314	6,975	22 回	36 回	84 町会

8. 生活福祉資金貸付事業

低所得者階層に必要不可欠な制度となっている当事業では、教育支援資金について特に需要が高く、本年度においては福祉資金 10 件 1,443,000 円、教育支援資金 13 件 8,403,000 円、緊急小口資金 4 件 365,000 円の貸付を行なうと同時に、民生委員・児童委員による生活指導をも併行して行なうことにより低所得階層等の経済的自立と生活意欲の助長促進を図った。

貸付状況

(R7. 4. 1～R8. 3. 31)

(1) 福祉資金

資金種類	貸付件数	貸付額
生活必需品	9 件	687,000 円
技能習得費	1 件	756,000 円
合計	10 件	1,443,000 円

(2) 教育支援資金

貸付件数	貸付額
13 件	8,403,000 円

(3) 緊急小口資金

貸付件数	貸付額
4 件	365,000 円

9. コロナ特例貸付フォローアップ事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯に対し、一時的な生活資金の貸付（特例貸付）を実施。令和4年9月30日に貸付制度自体は終了しましたが、その後の生活状況の確認や、償還に関する相談（償還免除・償還猶予・少額償還など）、およびそれらの制度への申請支援を行った。

（1）償還免除・償還猶予等の相談件数

電話	窓口
24 件	33 件

（2）償還猶予中の借受人への生活状況確認および相談件数

郵送	電話	窓口
74 件	183 件	57 件

10. 生活困窮者家計改善支援事業

本年度は、貝塚市より生活困窮者家計改善支援事業を受託し、家計改善支援員2名を配置。家計収支の均衡がとれていない等、家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、状況に応じた支援計画の作成、専門的な助言、指導等を行うことにより、生活困窮者の早期の生活再生に向けた支援を行った。

（1）本年度支援人数・・・9人

（2）相談支援実施件数

（件数）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
電話相談	2	4	2	3	3	2	2	1	1	5	0	4
訪問	0	0	0	1	1	0	0	2	2	2	2	1
同行支援	0	0	1	2	3	1	0	0	0	0	0	0
面談	4	2	2	4	5	4	2	1	1	2	2	1
支援会議	2	3	0	1	5	2	1	4	1	1	5	0
その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

（3）自立相談支援機関との支援調整会議

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施回数	2	3	0	1	5	2	1	4	1	1	5	0

1 1. 善意銀行

善意銀行預託は、本年度末現在 13 件の善意が結集、うち金銭預託が 9 件 332,400 円、物品預託が 4 件あり、本年度において 205,000 円の払い出しを行った。

令和7年度 善意銀行金銭預託者一覧表

〈敬称略〉

《金銭・一般寄付》

NO	年 月 日	氏 名 (団体名)	金 額	備 考
1	令和7年7月9日	どんまい後援会	10,000円	
2	令和7年12月22日	匿名	20,000円	
3	令和8年1月9日	匿名	500円	
4	令和8年1月20日	貝塚西グラウンドゴルフ愛好会	12,300円	
5	令和8年1月26日	貝塚市民間保育協議会	33,600円	
6	令和8年2月20日	匿名	1,000円	
7	令和8年3月13日	大阪教区南郡組仏教婦人会連盟	50,000円	

《金銭・指定寄付》

NO	年 月 日	氏 名 (団体名)	金 額	備 考
1	令和7年7月17日	匿名	5,000円	貝塚市視覚障害者協会
2	令和8年3月13日	特定非営利活動法人 すばる	200,000円	貝塚市視覚障害者協会

善意銀行《一般寄付》	7 件	127,400 円
善意銀行《指定寄付》	2 件	205,000 円
善意銀行寄付金合計	9 件	332,400 円

《物品寄付》

NO	年 月 日	氏 名 (団体名)	物 品	備 考
1	令和7年5月28日	匿名	白米30kg	
2	令和7年6月26日	匿名	白米20kg	
3	令和7年7月16日	匿名	衣類	
4	令和8年2月18日	(株)ダイナム	食品・日用品など110点	

1 2. 社協会員会費

きめ細やかな地域福祉活動を継続的に推進するための財源として、地区福祉委員会を通じて、積極的な募集活動を行い、住民のみなさまから協力をいただいた。

その実績に応じて各地区福祉委員会に 50%を福祉委員会活動として、20%を小地域ネットワーク活動として還元し、30%を社協の独自事業に有効に活用した。

一般会費 (1 口 1,000 円) 8,350 口 8,350,500 円

賛助会費 (1 口 5,000 円) 181 口 905,000 円

また、社協に参加して意見を反映させたいと考えている福祉関係をはじめ、さまざまな組織・団体に協力いただいた。

組織構成会員 (1 口 10,000 円) 57 団体 570,000 円

13. ボランティアセンター事業

◆広報、啓発

- 1) 市内全戸配布の機関紙「社協かいづか」に掲載
- 2) ボランティア活動パネル展
10 校区ボランティア部会と社協ボランティア連絡会に協力いただき、活動の様子をパネル展示にて周知・啓発
 - ・開催日：令和 7 年 8 月 4 日（月）～ 8 日（金）
 - ・会 場：イヅイチシエルピア Deux アトリウム
- 3) ホームページ、フェイスブック、社協ボランティア連絡会のブログによる活動周知

◆相談、情報提供

- 1) ボランティア派遣調整、活動に関する情報提供
個人や関係機関（市内社会福祉施設）からボランティアを必要とする相談を受け派遣
 - ・派遣件数 保育ボランティア（3 件）
 - ・子育て支援センター（3 件：内子育て支援センターひだまり 2 件）
 - 福祉施設ボランティア（5 件）
 - ・ほっこりの里（2 件） ・貝塚いぶき作業所（2 件）
 - ・グループホームめぐみの家（1 件）
 - 医療機関
 - ・市立岸和田市民病院 1 件 ・こころあ病院 1 件
 - 関係機関へのボランティア
 - ・貝塚市視覚障害者協会 1 件 ・貝塚市魅力づくり推進課 1 件

◆交流

- 1) 第 27 回ボランティアフェスティバル in 貝塚の開催
日時：令和 8 年 2 月 23 日（月・祝）10 時 30 分～15 時 00 分
会場：貝塚市役所緑の広場、市役所 1 階エントランス、市民福祉センター 6 階多目的ホール
目的：ボランティア活動の一層のつながり・広がり・高めあいを目指す
内容：主催者挨拶、模擬店、販売コーナー、作品展、演芸会、抽選会 など
協力：貝塚市内障害児者施設連絡会、貝塚市内児童発達支援・放課後等デイサービス連絡会
参加者：530 人
- 2) 福祉教育協力校事業の推進
 - ・令和 7 年度指定校申請受付、助成金の交付
 - ・令和 7 年度ひとり暮らし高齢者へのお便り活動
年賀はがきを通じて市内福祉教育協力校の児童と社協ふれあい訪問事業利用者との交流活動を行う

◆防災、災害

- 1) 災害救援ボランティアの募集・登録

災害時に活動ができるボランティアの登録を推進

登録者：63人(令和8年3月31日現在)

◆登録

1) 個人、グループのボランティア登録

・新規登録者：個人 7人 / 団体 なし

◆活動支援

1) 社協ボランティア連絡会

- ・定期総会の開催（4月開催） / ・定例会の開催（年1回）
- ・コーディネーター会の開催（年6回） / ・管外研修の企画・運営（12月開催）
- ・新規登録者の受付・更新
- ・大阪府市町村ボランティア連絡会、泉州ブロックボランティア連絡会への参画

2) 校区ボランティア部会

- ・交流会の開催（年1回）

3) ボランティア活動保険の申請受付

4) その他

- ・登録ボランティアに対するボランティアルームおよび備品の使用、
ボランティア保険掛金助成 など

◆大阪府ボランティア・市民活動センターとの連携

1) 各種会議の出席（ボランティアセンター担当者会議など）

2) 体制・状況調査への協力

14. ふれあい訪問事業

ひとり暮らし高齢者等の孤立解消と、地域における要援護者の見守り及び安否確認を目的として月2回のふれあい訪問を実施。

地区福祉委員会の協力のもと、市内障害（児）者施設・事業所の授産製品や日用品等を配布しながら年間約150名の対象者に対し、延べ3,158回の訪問（安否確認）を行った。

実施日	内 容	材 料 代	配布数	単 価
4月1回目 (4/4)	松源（パックご飯・親子丼）	65,056	151	431
4月2回目 (4/18)	松源（パック釜めし・お味噌汁）	53,109	152	349
5月1回目 (5/2)	松源（パックご飯・アラのり佃煮）	52,706	151	349
6月1回目 (6/6)	松源（パック釜めし・お味噌汁）	45,690	148	309
6月2回目 (6/18)	らばん（パウンドケーキ）・あすなろ（マフィン） みやび（マフィ）・なんなん（クッキー、せんべい）	63,000	150	420
7月1回目 (7/4)	松源（パックご飯・牛丼）	71,336	149	479
7月2回目 (7/18)	どんまい（クッキー） せんごく（ラスク）	63,000	149	423
8月1回目 (8/1)	松源（パック釜めし・お味噌汁）	46,662	150	311
8月2回目 (8/20)	ほっこり（ラスク） 夢二色（パウンドケーキ）	63,000	152	414
9月1回目 (9/6)	松源（マーブルケーキ・果物ゼリー） 台風の為中止	44,080		286
10月1回目 (10/3)	コープ（親子丼・天津飯・中華丼）	52,941	151	351
10月2回目 (10/17)	あかり（カード入れ）・いぶき（小物入れ） ゴミ袋	71,100	151	471
11月1回目 (11/7)	コープ（だし茶漬け鯛だし）	57,853	150	386
11月2回目 (11/21)	らばん（パウンドケーキ、クッキー）・あすなろ（マフィン） みやび（クッキー）・なんなん（クッキー）	63,000	153	412
12月1回目 (12/5)	コープ（たまごスープ・チャーハン）	55,698	154	362
12月2回目 (12/19)	どんまい（クッキー）・せんごく（ラスク）	63,000	149	423
1月1回目 (1/9)	松風庵（みかさ・月化粧）	62,150	152	409
2月1回目 (2/6)	松源（味噌汁・雑炊）	51,514	152	339
2月2回目 (2/20)	ほっこり（ラスク、クッキー）・夢二色（クッキー）	63,000	149	423
3月1回目 (3/6)	松源（赤飯・お吸い物）	52,128	147	355
3月2回目 (3/13)	松源（ごはん・カレー）	48,109	144	334
合 計		1,208,132	3,004	

1食あたり平均383円

15. 移送サービス事業（おでかけサポートらく楽便）

本事業は、貝塚市内に居住する移動が困難な高齢者や障害者に対し、社会参加の促進や生活の質の向上を図るため、運転協力者（ボランティア）の協力のもと、福祉車両による送迎サービスを実施。

買物を始めとする各種の外出を支援することにより、高齢者等の生活環境の向上に努めた。

（１）利用登録者 401人（内、新規利用登録者 48人）

（２）運転協力者 17人（内、新規運転協力登録者 1人）

（３）利用実績

月	送迎実績（回）	送迎先（内訳）		その他の主な送迎先
		買い物	その他	
4月	63	29	34	病院（総合病院、クリニック、歯医者、眼科）・銀行・農協・郵便局・市役所・福祉センター・図書館・老人センター・コスモシアター・墓参り・理髪店・クリーニング店・電気店・スーパー
5月	54	25	29	
6月	64	23	41	
7月	66	30	36	
8月	65	30	35	
9月	71	28	43	
10月	76	32	44	
11月	67	23	44	
12月	67	29	38	
1月	57	24	33	
2月	73	31	42	
3月	78	26	52	
合計	801	330	471	

16. あんしんコール事業（高齢者等安否確認事業）

本事業は、在宅でひとり暮らしの高齢者等に対して、電話による安否確認を実施。

ボランティアがひとり暮らし高齢者などを対象に週に1度、電話訪問（電話による声かけ、話し相手）を行うことにより、安否確認や孤独感・不安感の解消に努めた。

【事業内容】 週1回（月曜日または木曜日の午前中）の電話による安否確認

（１）利用登録者 13人

（２）コール協力者（ボランティア） 18人（内、新規コール協力登録者 1人）

17. コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業

本事業は、地域の関係諸機関と連携しつつ、様々な生活課題を抱えている方々の相談に努め、生活の見守り、情報提供をはじめ、諸制度や専門機関へ適切につなぐ役割を担った専門職（コミュニティソーシャルワーカー）を配置。

本年度は、社協事務局（保健福祉合同庁舎内）にコミュニティソーシャルワーカー3名を配置。地域における総合生活相談活動を積極的に実施し、要援護者の福祉の向上と自立生活を支えるための基盤づくりを行った。

◆令和7年度 活動実績

〔個別相談〕

相談対象	延べ件数	件数	相談者数
高齢者	393	48	
（うち）一人暮らし高齢者	285	36	
（うち）高齢者のみの世帯	37	7	
障害者	312	35	
（うち）身体障害者	48	4	
（うち）知的障害者	85	12	
（うち）精神障害者	179	19	
子育て中の親子	30	3	
ひとり親家庭の親子	33	5	
青少年	0	0	
DV被害者	0	0	
ホームレス	0	0	
外国人（中国帰国者含）	0	0	
その他（ひきこもり・難病）	19	5	
その他（生活困窮者等）	321	41	
合計	1108	137	106

相談内容	延べ件数	件数
福祉制度・サービスに関する相談	133	25
生活に関する身近な相談	271	35
健康・医療に関する相談	123	15
生活費に関する相談	410	60
就労に関する相談	77	14
財産管理・権利擁護に関する相談	254	24
消費者被害に関する相談	0	0
多重債務に関する相談	32	6
DV・虐待に関する相談	15	2
地域福祉活動・ボランティア活動に関する相談	0	0
住宅に関する相談	45	9
子育て・子どもの教育に関する相談	3	3
その他（ひきこもり、家財処分、近隣トラブル、苦情等）	56	9
合計	1419	202

○合計には、すべての相談の延べ件数を記入している。

○相談内容については、相談1件当たり複数項目該当する場合は、それぞれを1件としている。

〔個別相談以外〕

活動内容	件数
地域福祉計画に関する情報提供数	0
住民懇談会実施数	2
住民活動コーディネート数	29
要援護者等の組織化を支援した数	0
地域住民を対象とした研修会数	15
拡大地域ケア会議の開催数	326
出張相談開催数	0
合計	372

18. 重層的支援体制整備事業

重層的支援体制整備事業では、市町村全体の支援機関・地域の関係者が断らず受け止め、つながり続ける支援体制を構築することをコンセプトに、「属性を問わない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に実施することを必須にしています。

令和6年8月に貝塚市から地域づくり支援事業とアウトリーチ等を通じた継続的支援事業を受託し、潜在的なニーズを抱える人や世帯の把握、その方たちとのつながりを形成するために取り組みました。また、重層的支援体制整備事業の中核を担う多機関協働事業へもコアメンバーとして参画しました。

1. 多機関協働事業（スクラム会議）への参画（年12回／内支援会議6回、重層的支援会議1回）

- ① 多職種連携の推進に向けた役割と機能の理解やスクリーニング機能の強化に向けた事例検討（5回）
 - ・人事異動等を踏まえ、スクラム会議を構成するメンバー（担当課）による事業説明を行い、各課の役割や機能を学ぶ機会とした。
 - ・事例を通じ、地域で起こっている困難事例や支援状況の共有、困難さを招く状況などを検証した。
- ② 支援会議の開催（6回）
 - 複雑・複合化したケースに対する支援方針を検討し、残された支援ニーズの共有や介入方法などを整理し実務につなげた。
- ③ 重層的支援会議（1回）
 - 既存の制度・サービスだけでは対応できない狭間のニーズに対し、多様な主体と連携した支援体制に向け協議した。

2. 地域づくり支援事業

- ① 貝塚市地域貢献員会の開催（1月）／市内23法人中、10法人12人が出席
 - ・制度の狭間や複雑・複合化した生活課題に対応できる地域貢献員会を目指し、高齢、障害、児童といった分野を超えた多様なつながりの中から、課題の早期発見から支援ニーズの把握、適切な支援につなげるためのしくみづくりに向けた意見交換会を実施した。
- ② ひきこもり・家族支援セミナー&個別相談会（3月）／出席者8名
 - ・『当事者家族が伝えたい「ひきこもり」』をテーマに当事者家族を講師に招き、自らの体験談や日々の向き合い方について講義を行った。
- ③ ひきこもり支援研修会（3月）／出席者14名
 - ・「ひきこもり支援ハンドブック」を活用した多職種連携の充実に向けて」をテーマに、ひきこもり支援コーディネーターによる講義と参加者同士の情報交換会を行った。

3. アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

① 潜在的な支援ニーズを抱える者を早期に把握するための取り組み

- ・居宅介護支援部会研修会の講師派遣（令和7年11月20日）
- ・木島校区民生委員・児童委員地区委員会（令和8年1月22日）
- ・貝塚市障害者自立支援協議会各部会への出席
子ども支援部会（医CAT定例会2回／協議の場1回）
- ・ひきこもり支援検討会議（5回）
- ・住宅セーフティネット実務者会議（7回）

② 本人やその世帯とのつながりを形成するための取り組みや情報収集

困りごとの表出がない、関わりを拒否するケースに対し、他機関との情報共有や支援の橋渡しなどを行った。

対象者（世帯）：2件

19. 生活支援コーディネーター配置事業

本事業は、高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす役割を担う専門職（生活支援コーディネーター）4名を配置。関係者間のネットワークや既存の取組・組織等とも連携し、資源開発、担い手の育成、サービス提供主体間の連携の体制づくりに取り組んだ。

1 地域のニーズと資源の把握（見える化）業務

- ① 地域住民の暮らしを支えるさまざまな地域活動、サービス等の情報を集めた「かいづか社会資源ハンドブック」の内容を更新し、社協ホームページに掲載
- ② 生協移動販売車「お買い物便」巡回地域（停留所）マップの情報を更新し、福祉委員会、近隣町会・自治会等の関係者に配布
- ③ その他 ・はっぴいネットワーク会議出席 12回

2 資源開発業務

- ① ふれあい喫茶立ち上げ等に関する相談・支援 1件
- ② 活動計画推進費助成に関する相談 5件
- ③ 外出支援（移送サービス事業「らく楽便」の周知・啓発等

3 担い手の育成業務

- ① 生活援助サービス従事者研修会の開催（2回）
介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービス等のうち、市独自の緩和した人員基準等による訪問型サービスの従事者を養成
内容：令和7年5月24日（土）、5月25日（日）受講者23名
令和7年10月24日（金）、10月31日（金）受講者13名
- ② 移送サービス運転協力者、あんしんコールボランティアの募集、登録
移送サービス運転協力者 17名（内新規登録者1名）
あんしんコールボランティア 17名（内新規登録者なし）

4 サービス主体間のネットワーク化業務

- ① 生活支援・介護予防協議体出席 4回（内第1層協議体3回、第2層協議体1回）
- ② 貝塚市内ヘルパー事業所連絡会出席 2回
- ③ ふれあい喫茶担当者会議開催 1回

5 その他事業の目的の達成に必要な活動

- ① ふれあいお便り活動の推進
・地域の高齢者との交流活動の一環として市内小・中学校の児童、生徒によるハガキによるお便り、学校行事等の招待状を送付 対象者198人
- ② いきいきサロンの開催支援
・メニュー集の作成及びサロン開催に伴うボランティア講師の派遣調整 29件
- ③ 地域の行事、イベント等への参加・出席
・ふれあい喫茶、敬老演芸会、ふくしまつりなど 43回

20. 子育て支援センター事業

本事業は、未就学児の子どもをもつ子育て世代を対象に、親子が集い相互に交流できる場を提供し、周りの支援や学びを得ながら、子育てに余裕をもって関わられるよう支援するとともに、子育てに関する相談や情報を提供することにより、子育てへの不安を軽減することを目的とし、貝塚市より委託を受け実施した。

【つどいのひろば利用者数】 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
子ども 人数	213	153	209	266	215	229	260	141	165	182	194	276	2,503
延べ利 用者数	406	288	398	501	405	481	546	298	357	385	416	512	4,993

【講座・交流会の開催】

開催日	内容	参加数	開催日	内容	参加数
4/10	リズム遊び ズンビーニを楽しもう	25	11/7	ママヨガで気分はリフレッシュ！	8
5/13	みんなであそぼうピヨピヨスマイル	18	12/18	みんな de 楽しいクリスマス会	50
6/18	子どもの事故と救命救急手当	9	1/8	ママヨガで気分はリフレッシュ！	8
7/17	にじいろまつり	36	2/5	おやつ作り&座談会～ママのほっとtime	6
8/20	アフリカのたいこ	38	3/6	おやこでリトミックを楽しもう♪	16
9/27	おやこで運動あそび&ピクニックヨガ	18			
10/7	親子で楽しもうお店屋さんごっこ	35			

一時預かり事業

保護者の就労状況や利用する理由にかかわらず、未就学の子どもを一時的にお預かりし、育児の疲れをリフレッシュすることで育児に対して前向きに取り組めることを目的とし、貝塚市より委託を受け実施した。

【一時預かり利用者数】 (人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
30	20	20	28	24	21	22	22	38	38	35	53	351

21. ファミリー・サポート・センター事業

ファミリー・サポート・センターでは、子育ての援助をしてほしい方(利用会員)と協力できる方(両方・協力会員)との連絡・調整等を行い、双方会員の橋渡し役として相互援助活動の取り組みを支援しました。また、安心・安全な活動ができるように、講座(講習会・交流会)を開催しました。貝塚市在住でセンターの趣旨に賛同してくださるかたなら年齢・性別・資格に関わらず会員になれます。ファミリー・サポート・センターで行う援助は、子どもへの急な対応・手不足を補うものであるため軽易でかつ短期的、補助的なものに限りします。

会員状況	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用会員	387	387	387	391	367	369	372	373	374	383	386	389
協力会員	205	207	207	207	207	208	208	204	204	209	213	214
両方会員	21	20	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
合 計	613	614	615	619	595	598	601	598	599	613	620	624

活動内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
送 迎	48	58	39	32	22	39	30	25	31	44	36	28	432
預かり	15	20	7	18	23	25	21	17	24	21	20	27	238
合 計	63	78	46	50	45	64	51	42	55	65	56	55	670

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
打ち合わせ数	5	3	4	2	1	0	3	4	3	5	2	5	37
コスモス券申請数	9	15	0	9	6	6	6	15	3	12	9	3	93
コスモス券使用数	3	0	3	0	3	3	5	1	7	7	3	3	38

講座開催

開 催 日	内 容	講 師	大人 参加人数	子ども 参加人数	開催施設名
R7年4月17日(木)	よりよい援助活動の為に	協力会員	10		保健・福祉合同庁舎
R7年5月9日(木)	子どもの事故に対する応急手当てと救命処置	貝塚市消防本部 職員	13		保健・福祉合同庁舎
R7年6月30日(月)	小児看護の基礎知識	看護師	12		保健・福祉合同庁舎
R7年7月17日(木)	にじいろまつり	保育教諭	35	20	保健・福祉合同庁舎
R7年8月20日(水)	アフリカのたいこ	太鼓奏者	23	21	保健・福祉合同庁舎
R7年9月26日(金)	子どもの生活について	保育教諭	11		保健・福祉合同庁舎
R7年10月30日(木)	コミュニケーションについて	保育教諭	13		保健・福祉合同庁舎
R7年11月13日(木)	防災講座	貝塚市危機管理課 職員	15		保健・福祉合同庁舎
R7年12月18日(木)	みんなdeハッピー♪クリスマス会☆	貝塚市吹奏楽団	27	24	保健・福祉合同庁舎
R8年1月15日(木)	防災クッキング	アドバイザー	5		保健・福祉合同庁舎
R8年2月13日(金)	子どもの権利について考えよう	協力会員	13		保健・福祉合同庁舎
R8年3月11日(水)	フォローアップ講座	アドバイザー	6		保健・福祉合同庁舎
合 計			183	65	

障害者基幹相談支援センター（以下「センター」という。）は、地域の相談支援の拠点として、障害児者やその家族、相談支援事業所など関係機関に対する総合的かつ専門的な相談支援および権利擁護に関する役割を担い、地域の相談支援体制の強化、地域移行や地域定着の促進を図る目的で、貝塚市からの委託を受け、平成 29 年 4 月に開所しました。また、令和 6 年 4 月からは障害児相談支援事業の委託を受けて 18 歳以下の方にも対象を広げています。

(1) 総合相談、専門相談

○障害別相談延べ人員

身体障害	重心障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳	難病	不明	合 計
61	45	707	468	165	29	34	94	1603

身体障害	重心障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳	難病	不明	合 計
112	12	139	44	31	0	42	55	435

- 相談支援部会 . . . 10 回開催（うち打ち合わせ 2 回）
- 相談支援実務研修 . . . 2 回開催（泉州地域圏域での共同開催）
- インターバル研修 . . . 26 回開催（初任者 12 名・現任者 7 名）

○精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム協議の場（市町村圏域）・・・ 2回
○精神科病院の院内研修参画・・・ 3回（貝塚中央病院・水間病院・木島病院）
○地域移行部会・・・ 2回

(5) 障害者自立支援協議会の運営等

- 本会議、事業委員会 . . . 2回（本会議1回、事業委員会1回）
- 定例会 . . . 1回
- 事務局会議 . . . 2回
- 地域生活推進部会 . . . 7回
- 子ども支援部会 . . . 回（うち打ち合わせ9回、医CAT3回、事務局会議1回）
- 就労支援部会 . . . 5回（うち打ち合わせ2回、つながるフェスタ1回）
- 貝塚市内障害児者施設連絡会 . . . 13回（施設長会6回・主任会6回・研修会1回）
- 地域自立支援協議会情報交換会 . . . 2回

23. 日常生活自立支援事業

本事業は、平成12年4月から大阪府社会福祉協議会の委託を受け、認知症・知的障害・精神障害などで判断能力が不十分な方を対象に福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などを行うことにより、安心して生活が送れるようにサポートするものである。

令和7年10月に開設した成年後見制度利用促進に係る中核機関と連携を図り、対象者に応じた権利擁護に関する適切な制度利用や各種相談対応を行った。

○ 本年度相談件数

総 数	2,072件		
	(内訳)	認知症高齢者	236件
		知的障害者	777件
		精神障害者	1,051件
		そ の 他	8件

○ 本年度契約締結件数

本年度末現在 契約者数	62件		
継続 71件	(内訳)	認知症高齢者	16件
		知的障害者	29件
		精神障害者	26件
		そ の 他	0件
新規契約 6件	(内訳)	認知症高齢者	2件
		知的障害者	1件
		精神障害者	3件
		そ の 他	0件
終了 15件	(内訳)	認知症高齢者	5件
		知的障害者	5件
		精神障害者	5件
		そ の 他	0件
(終了理由)	本人死亡	7件(認知症高齢者4件、知的障害者2件、精神障害者1件)	
	解約	5件(認知症高齢者1件、知的障害者1件、精神障害者3件)	
	他市への移管	3件(知的障害者2件、精神障害者1件)	

○ 本年度訪問回数

契約前の訪問回数 34回	(内訳)	認知症高齢者	14回
		知的障害者	11回
		精神障害者	7回
		そ の 他	2回
契約後の活動 1,795回	(内訳)	認知症高齢者	195回
		知的障害者	684回
		精神障害者	916回
		そ の 他	0回

○ 市民、関係機関に対する広報・啓発

① 6月26日(木) 貝塚市職員向け研修会「権利擁護支援の重要性と各種制度について」
参加者数…44名

② 11月20日(木) 貝塚市ケアマネジャー連絡会「地域に必要な社会資源と地域連携ネットワークの構築」
参加者数…65名

24. 成年後見制度に係る中核機関運営業務

(権利擁護サポートセンターかいつかは)

令和 7 年 10 月に貝塚市から委託を受けて、権利擁護サポートセンターかいつかを開設しました。権利擁護サポートセンターかいつかは、「誰もが住み慣れたまちで安心して暮らせる」ことを目指し、成年後見制度等に関する相談窓口を設け、利用の必要性のある方々やそのご家族が必要な情報を得られるようにします。

認知症、知的障害、精神障害などにより、さまざまな判断が難しい方が、その人らしく生きることができるよう、他の支援機関や地域の皆さんと力を合わせ、一人ひとりに寄り添った支援を大切にしていきます。

昨年の運営方針

中核機関は、成年後見制度を中心とした権利擁護支援の促進を図るために設立される機関であり、地域連携ネットワークとなる権利擁護支援等推進協議会の中心的な役割を果たすことが求められます。

昨年度は、①行政機関との権利擁護支援の連携体制の構築、②権利擁護支援を必要とする方の早期の段階からの相談・対応体制の整備、③日常生活自立支援事業との一体的展開、④地域の意思決定支援・身上保護を重視した成年後見制度の運用に資する支援体制の構築を図る、の 4 点を重点課題として取り組みました。

(1) 市民、関係機関に対する広報・啓発

- ① チラシやパンフレットの作成・配布・配架
- ② ホームページへのアップ、社協かいつかへの紹介記事の掲載
- ③ 講演会および研修会等の実施

4 月 22 日(火):貝塚障害児団体連絡会「権利擁護支援の重要性と中核機関の役割」参加者数…26 名

6 月 26 日(木):貝塚市職員向け研修会「権利擁護支援の重要性と各種制度について」参加者数…44 名

7 月 9 日(水):自立センターどんまい保護者会向け研修会

「貝塚市における中核機関の役割と親が元気なうちに備えていきたいこと」参加者数…13 名

7 月 18 日(金):岸和田保健所 精神障害者家族会「中核機関センター説明」参加者数…27 名

11 月 20 日(木):貝塚市ケアマネジャー連絡会「地域に必要な社会資源と地域連携ネットワークの構築」、
「権利擁護サポートセンターかいつかの説明」参加者数…65 名

11 月 22 日(土):貝塚市障害児者施設連絡会向け 権利擁護研修会 参加者数…86 名

12 月 6 日(土):障害者自立支援協議会 権利擁護研修会(センター設置記念講演)

「意思決定支援・権利擁護支援の基本的な考え」講師…鵜浦 直子 氏

大阪公立大学大学院生活科学研究科准教授 貝塚市権利擁護支援等推進協議会 会長
参加者数…89 名

12 月 19 日(金):障害者自立支援協議会 相談支援部会 参加者数…31 名

1 月 14 日(水):貝塚市障害者自立支援協議会 権利擁護検討委員会 参加者数…11 名

(2) 総合相談・専門相談

①相談対応

- ・相談件数:実人数 45 件、延べ件数 186 件
- ・対象者:高齢者 30 件、障害(精神)5 件、障害(知的)8 件、未成年 1 件、その他 1 件
- ・相談者:家族 9 件、支援関係者 32 件、本人 4 件
- ・相談内容:金銭管理、後見申立、後見制度説明、死後事務、相続、全般的な相談、その他など

②専門相談

- ・計 20 件(個別案件 6 件、高齢介護課、障害福祉課、基幹相談支援センター、委託相談、地域包括支援センターから 14 件)
- ・内容は、未成年後見、自宅処分、死後事務・相続遺言、日自からの移行ケース、後見申請のタイミング等

(3) 成年後見制度利用促進業務

- ・日常生活自立支援事業からの移行ケースの検討
- ・8 件のケースを移行が必要か検討、内 2 件は相談部会で市長申し立ての相談を実施。

(4) 成年後見人等の支援業務

- ・第 1 回市民後見人交流会を 2 月 6 日に開催、バンク登録者4名が参加。
- ・相談部会で後見申し立ての候補人調整について、市民後見人も含め検討。

(5) 地域連携ネットワークの構築

①準備委員会の参画依頼及び調整の実施

- ・第1回貝塚市成年後見制度中核機関設置準備委員会を令和7年 1 月 24 日に開催。
- ・準備委員会委員への報償費の支払い。

②貝塚市権利擁護支援等推進協議会の開催

- ・第 1 回貝塚市権利擁護支援等推進協議会を、令和 7 年 11 月 7 日開催、年 2 回実施予定。

③運営会議の運営

- ・計 5 回実施。(令和 7 年 10 月 3 日、11 月 18 日、令和 8 年 1 月 9 日、2 月 3 日、3 月 24 日)

④相談部会の運営

- ・計 6 回実施。(令和 7 年 10 月 29 日、11 月 26 日、12 月 24 日、令和 8 年 1 月 27 日、2 月 24 日、3 月 24 日)
- ・高齢介護課・障害福祉課・生活福祉課と、個別ケース・市長申し立てケース、受任調整等を検討。

25. 献血事業

昨年度に引き続き、献血への理解と協力を求めるために、広報など積極的な啓発活動を展開した。また、府、市、大阪府赤十字血液センターなど関係機関との連携協力のもと、福祉委員会などが主催する地域献血を推進し、安定した献血協力者の確保に寄与した。

貝塚市献血推進協議会の活動および献血実績は下記のとおり。

貝塚市献血推進協議会事業実績

○ 貝塚市献血推進協議会総会 令和7年6月9日 (委員9名出席)

○ 広報資料作成および普及活動実績

広報車による市内啓発

○ 献血会場での啓発実績

粗品進呈500円程度の啓発物品 (防災備蓄セット等)

献 血 実 施 状 況

(単位:人)

No	献血実施日		主 催 団 体 名	献 血 実 施 場 所	受 付	採 血			不採血
	年月日	曜				200cc	400cc	計	
1	R7.5.11	日	中央校区福祉委員会	マツゲン貝塚鳥羽店	55	0	47	47	8
2	R7.5.23	金	木島・東山・葛城校区福祉委員会	山手地区公民館	20	0	18	18	2
3	R7.6.3	火	貝塚市献血推進協議会	貝塚市消防本部	13	0	13	13	0
4	R7.7.3	木	貝塚市献血推進協議会・ライオンズ	コスモスシアター前	99	5	86	91	8
5	R7.7.3	木	貝塚市献血推進協議会	貝塚警察署	16	0	14	14	2
6	R7.7.19	土	南校区福祉委員会	イオン貝塚	65	2	54	56	9
7	R7.9.6	土	津田校区福祉委員会	コープ貝塚	51	1	44	45	6
8	R7.9.20	土	北校区福祉委員会	庄や	21	0	17	17	4
9	R7.10.18	土	二色校区福祉委員会	浜手地区公民館	23	3	18	21	2
10	R7.10.23	木	貝塚市献血推進協議会・ライオンズ	コスモスシアター前	73	0	67	67	6
11	R7.11.21	金	木島・東山・葛城校区福祉委員会	山手地区公民館	40	0	38	38	2
12	R7.11.30	日	東校区福祉委員会	ホームセンタームサシ	48	2	38	40	8
13	R7.12.3	水	貝塚市献血推進協議会	貝塚警察署	18	0	17	17	1
14	R8.1.22	木	貝塚市献血推進協議会	貝塚消防署	8	0	8	8	0
15	R8.2.5	木	貝塚市献血推進協議会・ライオンズ	コスモスシアター前	80	4	72	76	4
16	R8.3.14	土	南校区福祉委員会	イオン貝塚	58	2	45	47	11
17	R8.3.14	土	津田校区福祉委員会	コープ貝塚	36	2	32	34	2
合 計					724	21	628	649	75

26. 各種機材の貸出

市内在住で、短期間に車イスを必要とする方に対して、無料で貸出しを実施しました。
併せて、福祉教育、ボランティア学習推進のため、体験学習を行う団体などに対して、高齢者疑似体験セットの貸出しを実施しました。

1. 車イスの貸出状況

1ヶ月未満	1～2ヶ月未満	2～3ヶ月未満	3ヶ月以上	合計
132	19	14	17	182

※ 現在貸出中 11 件

2. 高齢者疑似体験セットの貸出状況

日程	研修名	実施団体	対象者
令和7年7月7日 ～7月11日	職場研修	有料老人ホーム コリオン貝塚	介護士
令和7年9月18日 ～9月24日	総合学習	中央小学校	児童
令和7年11月11日 ～11月28日	総合学習	二色学園（前期）	児童
令和7年12月4日 ～12月9日	高齢者体験	河崎会看護専門学校	学生
令和7年12月10日 ～12月19日	総合学習	東山小学校	生徒

27. 社会福祉実習生の受入れ

福祉に携わる人材の育成を目的に、社会福祉士養成課程における相談援助実習生の24日間受入れ。各担当者（部署）において社会福祉士として必要な知識及び援助技術を習得するための実習指導を実施しました。

受入れ養成校	桃山学院大学 社会学部	8月6日～9月28日
	関西大学 社会学部	9月29日～10月31日
受入れ人数	2名	

28. 共同募金運動・歳末たすけあい運動

共同募金、歳末たすけあい運動は、住民相互の助けあい運動として、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指し、今年度においても、住民のみなさん、ボランティアや地区福祉委員会、関係機関・団体によるあたたかいご支援のもと、実施することができました。

令和7年度 貝塚地区共同募金実績表

種 別	令和6年度 実績額（円）	令和7年度 実績額（円）	前年度との 対比（％）	前年度との 対比（±円）	実績 構成比 （％）
戸別募金（町会）	3,114,655	2,958,345	95%	-156,310	51.1%
法人募金（会社・商店・個人）	651,000	626,500	96%	-24,500	10.8%
学校募金	268,947	237,877	88%	-31,070	4.1%
街頭募金	333,703	253,530	76%	-80,173	4.4%
バッジ募金	1,408,000	1,291,500	92%	-116,500	22.3%
職域募金	22,830	22,862	100%	32	0.4%
その他募金	295,735	396,973	134%	101,238	6.9%
合 計	6,094,870	5,787,587	95%	-307,283	100.0%

令和7年度 貝塚地区歳末たすけあい募金実績表

種 別	令和6年度 実績額（円）	令和7年度 実績額（円）	前年度との 対比（％）	前年度との 対比（±円）	実績 構成比 （％）
戸別募金（町会）	1,008,100	967,390	96%	-40,710	58.4%
一般募金	266,530	420,997	158%	154,467	25.4%
街頭募金	276,974	268,833	97%	-8,141	16.2%
合 計	1,551,604	1,657,220	107%	105,616	100.0%